

24 Lesson 7 (1)

「～したことがある」と伝えよう

英語監修・出演 阿野幸一

きょうの目標 経験を伝えることができる

- これまでの経験を表すには
- 「～へ行ったことがある」と言うには

文法・表現 現在完了形（経験）

これまでの経験を表すには

次の文を見てみましょう。

I saw emperor penguins on TV yesterday.

(きのう、私はテレビでコウテイペンギンを見ました)

この文は **see** (～を見る) という動詞の過去形を使った文です。これは、「きのう」という過去の一時点の行為を表したものです。では次の文はどうでしょうか？

I have seen emperor penguins on TV.

(私はテレビでコウテイペンギンを見たことがあります)

この文の下線部に注目しましょう。動詞の前には **have** があり、その後には **see** の過去形 **saw** ではなく、**seen** という過去分詞が使われています。この **〈have + 過去分詞〉** の形は現在完了形と言われ、過去の動作や行為が何らかの形で現在と関係していることを表します。過去形と過去分詞は、形が同じ動詞もあれば、形が異なる動詞もあります。

この文では、生まれてから今日までに「コウテイペンギンを見たことがある」というこれまでの経験を表しています。コウテイペンギンを見たのは過去の行為ですが、この文では過去のある時点（ここでは生まれたとき）から現在までに経験したことを表しています。したがって、過去形の文で使われていた **yesterday** のような過去の一時点を表す言葉は、これまでの経験を表す現在完了形では使うことはできません。

■現在完了形の疑問文と答え方

現在完了形の疑問文は、**have** を文のはじめに置き、最後に **?** をつけます。

Have you ever traveled abroad?

(あなたは今までに海外旅行をしたことがありますか?)

この文で使われている **ever** は、「今までに」という意味を表します。この疑問文に答えるときにも、**have** を使って次のように答えます。

このページ掲載の文章・画像の無断転載を固く禁じます。

Yes, I have.

(はい、あります)

No, I haven't (have not).

(いいえ、ありません)

■現在完了形の否定文

現在完了形の否定文は以下のようになります。

I have not traveled abroad.

(私は海外旅行をしたことがありません)

否定の意味を強調するときには、**not** の代わりに **never** を使って表現します。

I have never traveled abroad.

(私は一度も海外旅行をしたことがありません)

「～へ行ったことがある」と言うには

ある場所へ行ったことがあるかの経験をたずねるときには、現在完了形を使いますが、動詞には **be** の過去分詞を使って次のように表現します。

Have you ever been to Australia?

(あなたは今までにオーストラリアへ行ったことがありますか?)

自分がある場所へ行ったことがあることを伝えるには、**<have been to ~>** の形で表します。

I have been to Australia.

(私はオーストラリアへ行ったことがあります)

どこかへ行ったことがあると答えた人に、行ったことがある回数を尋ねる際には、次のように表現します。

How many times have you been to Australia?

(あなたは何回オーストラリアへ行ったことがありますか?)

答える際には、次のように英文の最後に回数を表す表現をつけて伝えることができます。

I have been to Australia twice.

(私は2回オーストラリアへ行ったことがあります)

回数を表す表現は次のようになります。

1回 - once 2回 - twice 3回 - three times 4回 - four times… 以下同様に、
数字を表す単語に **times** をつけて表現します。

このページ掲載の文章・画像の無断転載を固く禁じます。

あの先生のこの話!



現在完了形で have を使うわけ

次の2つの英文を比べてみましょう。

I visited Australia.

(私はオーストラリアを訪れました)

I have visited Australia.

(私はオーストラリアを訪れたことがあります)

1つ目の英文は「オーストラリアへ行きました」という過去の一時点の行為を示しています。それに対して2つ目の文では、**have** が入ることで、「オーストラリアへ行ったことがあります」というこれまでの経験を表しています。この違いのポイントは、**have** を使うところにあります。

次の文で確認しましょう。

I have (visited Australia) .

この文の構造は、(visited Australia) (オーストラリアを訪れた)という過去の行為を、I have (今現在で抱えている)ということになります。つまり、今から見て「オーストラリアを訪れた状況がある」という経験を表し、「過去にあった状況を、今現在抱えている」という意味を表すために **have** が使われていると考えることができます。